

安達太良山の火山活動解説資料（平成23年 2 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。



図 1 安達太良山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月分）は平成 23 年 4 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の映像（2月22日12時00分頃）
若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラによる。

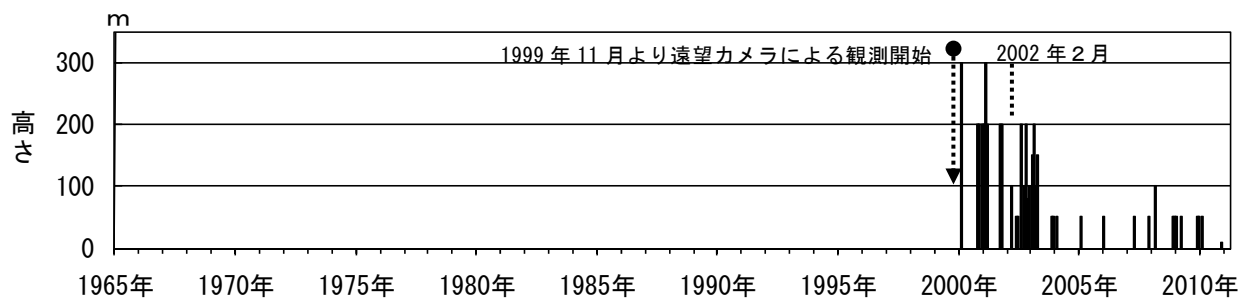


図3 安達太良山（沼ノ平）月別最大噴気高（1999年11月～2011年2月）
2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。
2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

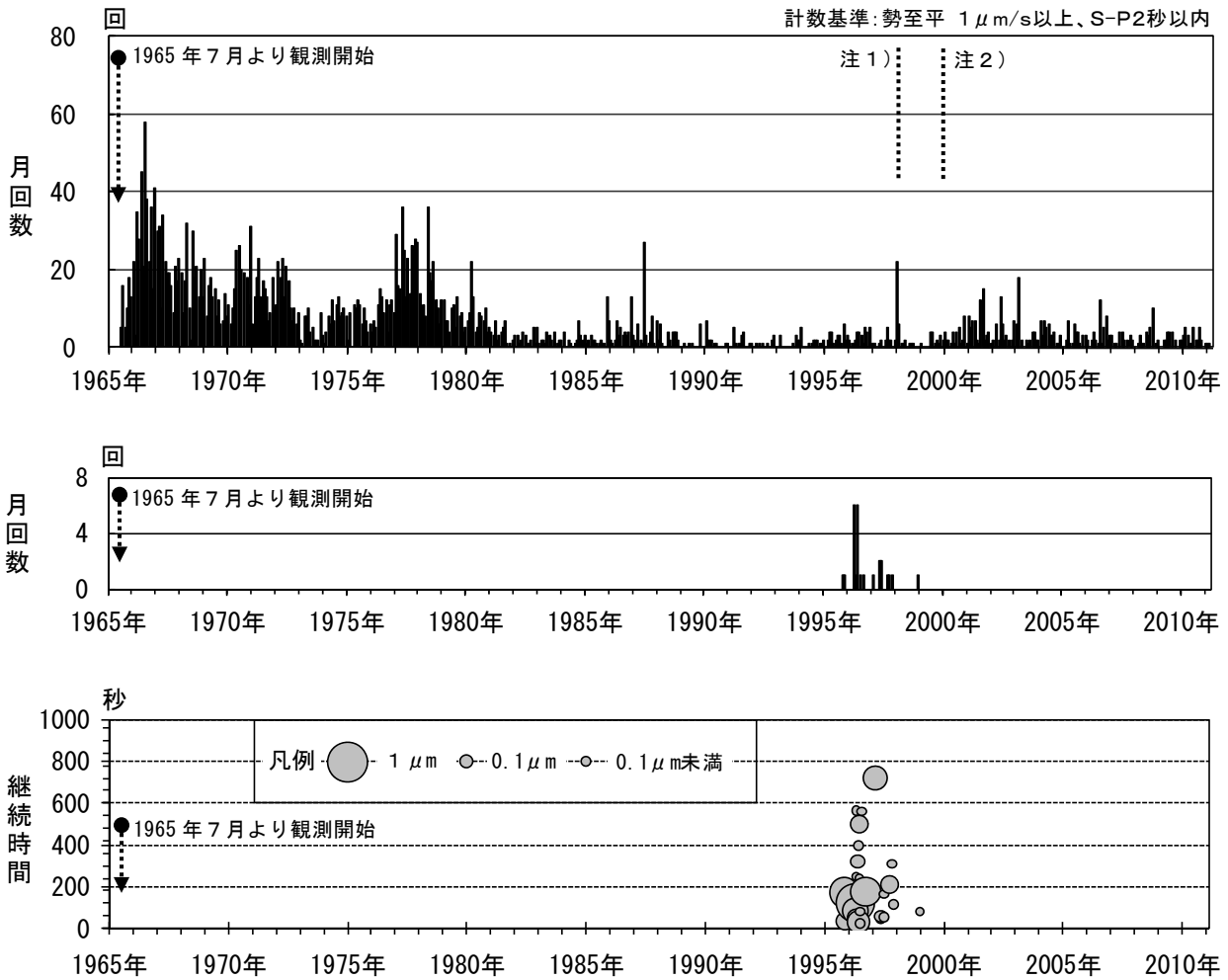


図4 安達太良山 上段：月別地震回数（1965年7月～2011年2月）
 中段：月別微動回数（1965年7月～2011年2月）
 下段：微動の継続時間と上下動最大振幅（1965年7月～2011年2月）^{注3)}

注1) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
 注2) 1999年10月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平から東北東約6km）から勢至平観測点（沼ノ平から東北東約3km）に変更しました。
 注3) 塩沢観測点による。

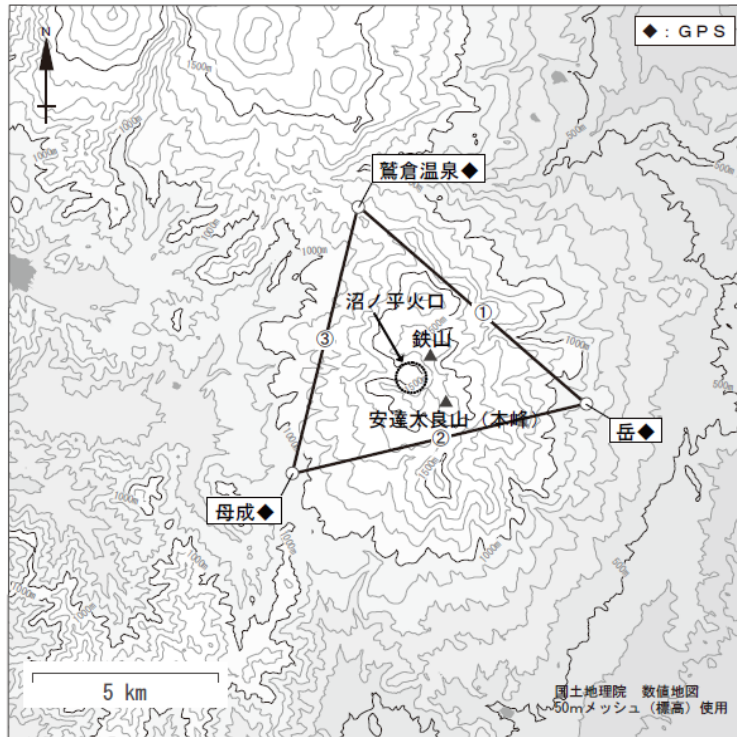


図5 安達太良山 GPS 観測点配置図
GPS 基線①～③は図6の①～③に対応します。

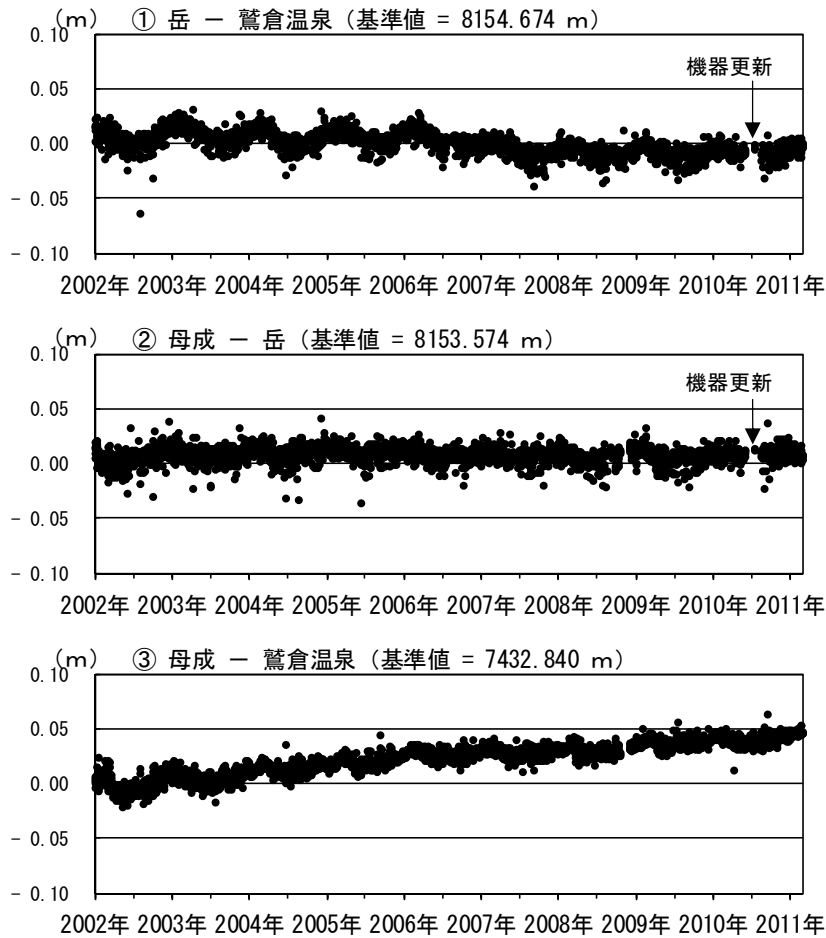


図6 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2011 年 2 月)
①～③は図5の GPS 基線①～③に対応しています。
グラフの空白部分は欠測を表しています。